



2学期スタート!



児童たちの元気な声が校舎に戻ってきました。今年の夏休みは、前半、オリンピックで湧きました。しかし、その最中の8月2日に4度目となる緊急事態宣言が再発令され、また、19日に、その延長が決まりました。加えて、お盆前後には、季節外れの秋雨前線の停滞による災害が列島で頻発しました。いろいろとあった夏休み期間でしたが皆様におかれましては、いかがお過ごしだったでしょうか。

さて、児童に多くの実りを期待する2学期のスタートにあたっては、1学期に引き続いての新型コロナウイルス感染症防止、熱中症予防、そして、台風等の自然災害への危機管理が欠かせないと考えています。しかし一方、こんな時だからこそ昨年の経験に学びつつ、児童に自信や主体性を育む教育をしたく考えています。皆、笑顔で希望を持って過ごしていきたいものです。そしてその源になるのは、周囲の人々への感謝また、自分が生きていること生かされていることへの感謝の気持ちであると思います。

最後になりますが、今学期も教職員で気持ちを揃え、ワンチームとなり、児童たちの教育にあたってまいります。なにとぞ、引き続きましての本校教育へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

『空気感を大切に』 ～ 2学期、皆に期待すること ～

2学期は、運動会や校外学習など、学年で、学級で、またチームで取り組む行事がいくつかあります。

そこで皆さんには、大切な心の持ち方として、『その人の心が、環境を決める。』という言葉をご存知でしょうか。例えば、行事に向かう時には、皆の心を一つにし、達成感を得ることが行事の成功、つまり個人や集団の成長につながります。しかし、もし他人の話に耳を傾けない人がいたり、大きな声にものを言わせて自分の意見を押し通したりする人が一人でもいたらどうでしょう。周りの空気が重くなってしまいますね。これは、明らかに全体にとってマイナスです。だからみなさんには、他者に優しさのある、また、学習・生活にけじめのある空気感を作してほしいと思います。加えて、①目上の人を尊敬する、②正直で誠実さのある、③いじめや差別を許さないなどの空気感も大切です。そして、皆さんには、環境に左右されるのではなく、環境をつくる人でいてほしいと思います。安岡正篤という先生(先人)が言っています。『環境が人を作るということにとらわれてしまえば、人は単なる物、単なる機械になってしまう。人は環境を作るからにして、そこに人間の人間たる所以がある。自由がある。即ち、主体性、創造性がある。だから人物が偉大であればあるほど、立派な環境を作る。人間ができないと環境に支配される。』と……

このような思いから、皆さんには、この2学期、「誰もが安心して生きていける、温かく優しい空気の満ち溢れる、学年、学級、仲間[チーム]⇔【総じて社会】を形成して欲しいです。先生たち大人も同じです。

◇ お 願 い (ご家庭における感染症拡大防止対策について)

8月19日のすぐメールでもお伝えしましたが、夏休み明けにあたり、校内でデルタ株の影響に注視していかなければと強く感じています。つきましては、保護者の皆さまには、今まで通り、毎朝の検温や正しいマスクの着用、手洗いの徹底。本人をはじめ同居家族に発熱症状がある場合やPCR検査を受けることになった場合は登校させないことなどの対策への協力を、今一度、改めてお願いいたします。

◆お 知 ら せ (2,4,6年の学習発表会行事予定日の変更について)



学習発表会(2,4,6年)については、6月15日発行の東豊台だよりで、実施予定日を11月19日(金)の1日間としていましたが、11月16日(火)を2年3クラスと4年1クラス、18日(木)を4年2クラス、19日(金)を6年4クラスの3日間に分散して行う予定に変更しました。詳しくは、後日、学年だより等でお知らせします。